

DSHEng4 通信エンジンライブラリ(GEM+GEM300)
ソフトウェア・パッケージ

ユーザ作成ライブラリ関数 2次メッセージ応答関数一覧表

2009年7月

株式会社データマップ

文書番号 DSHEng4-07-30340-00

【取り扱い注意】

- ・ この資料ならびにソフトウェアの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- ・ 本説明書に記述されている内容は予告なしで変更される可能性があります。
- ・ Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・ ユーザーが本ソフトウェアの使用によって生じた遺失履歴、(株)データマップの予見の有無を問わず発生した特別損害、付随的損害、間接損害およびその他の拡大損害に対して責任を負いません。

【改訂履歴】

番号	改訂日付	項目	概略
1.	2009.7	初版	
2.			
3.			
4.			

目次

1. 概要	1
2. 2次メッセージ応答関数一覧表	2

1. 概要

DSHEng4 のサブライブラリとして、ユーザ作成ライブラリプログラム(以下 GEMULIB と呼びます)があります。

GEMULIB は、主に次の2つの処理を行うためのプログラムが含まれるライブラリプログラムです。

- (1) アプリケーションプログラム内部で処理するメッセージを登録すること。
登録ならびに DSHEng4 からメッセージを受信する方法については、以下の説明書を参照ください。
「DSHEng4 ユーザガイド」の 6. ユーザ作成 DSHGEMULIB.DLL プログラム
「DSHEng4 への手引き」の、6. ユーザ作成 DLL プログラムの準備
- (2) 受け取った1次メッセージを処理した後の2次応答メッセージ送信関数を提供すること。

GEMULIB が標準的にサポートするメッセージについては、DSHEng4 製品パッケージの中にデフォルトの GEMULIB プログラムがソースファイルで提供されます。

本説明書では、DSHEng4 が通常、アプリケーションプログラムで処理されると思われる1次メッセージに対する2次メッセージ応答関数について、関数プロトタイプ、存在するソースファイル名などについて一覧表にまとめました。

一覧表には、情報構造体内使用メモリの開放処理と、I7-情報構造体内使用メモリの開放処理の2つの欄があり、それらを行うか否かを、記号で表します。記号の意味は、 = 開放する。 X = 開放しない。 - = 構造体の引数がない、 ことを意味します。

情報構造体内メモリ開放処理

1次メッセージをデコードして得られたメッセージの情報構造体ポインタの引数がある場合、その構造体内のメンバーなどに、割り当てられ使用されているメモリを開放するかどうかを、 X、 - で表示します。

I7-情報構造体内メモリ開放処理

2次メッセージの中に複数の情報またはリスト構造のデータ情報がある場合、引数に構造体内にセットされ、そのポインタが与えられる関数があります。これも と同様に構造体内に使用されているメモリを開放しているかどうかを示します。

これは、例えば、S3F17 メッセージの2次メッセージ応答関数は次のようになります。

```
int DshResponseS3F18(  
    ID_TR trid,  
    TCACT_INFO *info, // 1次メッセージがデコードされた情報構造体内メモリを開放の場合  
    TCACT_ERR_INFO *erinfo // 2次メッセージの応答情報が含まれる情報構造体内メモリを開放の場合  
)
```

ユーザは、当該メッセージについてのソースファイルの中の関数の処理を変更することによってメモリを開放する、しないを変更することができます。(を X に、または X を する処理の変更など)

[注]

アプリケーションを Eng4Class クラス・ライブラリを使って作成する場合は、ユーザ作成ライブラリ・プログラムを作成する必要がありません。メッセージ応答用のクラスを使用します。

2. 2次メッセージ応答関数一覧表

2次メッセージ応答関数一覧表

1次MSG	方向	役割	ソースファイル名	応答msg送信関数名と引数	情報構造体 開放処理	エラー情報構造体 開放処理
S1F15	H E	オフライン要求	u_s1f15.c	intDshResponseS1F16(ID_TR trid, int oflack)	-	-
S1F17	H E	オフライン要求	u_s1f17.c	intDshResponseS1F18(ID_TR trid, int onlack)	-	-
S2F23	H E	トレース条件設定	u_s2f23.c	int DshResponseS2F24(ID_TR trid, TTRACE_INFO *info, int tiaack)		-
S2F41	H E	ホストコマンド送信	u_s2f41.c	intDshResponseS2F42(ID_TR trid, TRCMD_INFO *info, TRCMD_ERR_INFO *erinfo)		
S2F43	H E	スプールの設定	u_s2f43.c	int DshResponseS2F44(ID_TR trid, TSPPOOL_INFO *info, TSPPOOL_ERR_INFO *erinfo)		
S2F45	H E	変数リミット属性定義	u_s2f45.c	int DshResponseS2F46(ID_TR trid, TLIMIT_LIST *info, TLIMIT_ERR_LIST *erinfo)		

S2F49	H E	Enhanced Remote Command	u_s2f49.c	int DshResponseS2F50(ID_TR trid, TERCMD_INFO *info, TERCMD_ERR_INFO *erinfo)		
S3F17	H E	キャリアアクション要求	u_s3f17.c	int DshResponseS3F18(ID_TR trid, TCACT_INFO *info, TCACT_ERR_INFO *erinfo)		
S3F23	H E	ポートグループアクション要求	u_s3f23.c	int DshResponseS3F24(ID_TR trid, TPORTG_INFO *info, TCACT_ERR_INFO *erinfo)		
S3F25	H E	ポートアクション要求	u_s3f25.c	int DshResponseS3F26(ID_TR trid, TPORT_INFO *info, TCACT_ERR_INFO *erinfo)		
S3F27	H E	Change Access	u_s3f27.c	int DshResponseS3F28(ID_TR trid, TACCESS_INFO *info, TACCESS_ERR_INFO *erinfo)		
S7F1	H E	プロセッサのラムド問合せ	u_s7f1.c	int DshResponseS7F2(ID_TR trid, TPPINQ_INFO *info, int ppgnt)		-
S7F3	H E	プロセッサのラム送信	u_s7f3.c	int DshResponseS7F4(ID_TR trid, TPP_INFO *info, int ackc7)		-

S7F5	H	E	ブレスクック要求	u_s7f5.c	int DshResponseS7F6(ID_TR trid, TPP_INFO *info, int ackc7)		-
S7F17	H	E	ブレスクック削除指示	u_s7f17.c	int DshResponseS7F18(ID_TR trid, int ackc7)	-	-
S7F23	H	E	フォーマット付ブレスクック送信	u_s7f23.c	int DshResponseS7F24(ID_TR trid, TFPP_INFO *info, int ackc7)		-
S7F25	H	E	フォーマット付ブレスクック要求	u_s7f25.c	int DshResponseS7F26(ID_TR trid, TFPP_INFO *info, int ackc7)		-
S7F27	H	E	ブレスクック妥当性送信	u_s7f27.c	int DshResponseS7F28(ID_TR trid, TPP_PVS_LIST *list)		-
S7F29	H	E	ブレスクック妥当性問合せ	u_s7f29.c	int DshResponseS7F30(ID_TR trid, int ppgnt)	-	-

S10F3	H E	端末表示、シングルロック	u_s10f3.c	int DshResponseS10F4(ID_TR trid, char *text, int ackc10)	(text)	-
S10F5	H E	端末表示、マルチロック	u_s10f5.	int DshResponseS10F6(ID_TR trid, TTERMTEXT_INFO *info, int ackc10)		-
S14F9	H E	Create Object Request(Cj)	u_s14f9.c	int DshResponseS14F10(ID_TR trid, TOBJ_INFO *info, TOBJ_ERR_INFO *erinfo)		X
S14F11	H E	Delete Object Request(Cj)	u_s14f11.c	int DshResponseS14F12(ID_TR trid, TOBJ_INFO *info, TOBJ_ERR_INFO *erinfo)		X
S15F3	H E	Recipe Namespace action Req	u_s15f3.c	int DhResponseS15F4(ID_TR trid, TRCP_ACT_INFO *info, TRCP_ERR_INFO *erinfo)		
S15F5	H E	Recipe Namespace rename Req	u_s15f5.c	int DshResponseS15F6(ID_TR trid, TRCP_RENAME_INFO *info, TRCP_ERR_INFO *erinfo)		
S15F13	H E	Recipe Create Request	u_s15f13.c	int DshResponseS15F14(ID_TR trid, TRCP_INFO *info, TRCP_ERR_INFO *erinfo)		X

S16F5	H E	Process Job Cmd Request	u_s16f5.	int DshResponseS16F6(ID_TR trid, TPRJ_CMD_INFO *info, TPRJ_CMD_ERR_INFO *erinfo)		
S16F11	H E	PrJob Create Enh	u_s16f11.c	int DshResponseS16F12(ID_TR trid, TPRJ_INFO *info, TPRJ_ERR_INFO *erinfo)		X
S16F15	H E	PrJob Multi Create	u_s16f15.c	int DshResponseS16F16(ID_TR trid, TPRJ_LIST *plist, TPRJ_ERR_INFO *erinfo)		X
S16F17	H E	PrJob Deque	u_s16f17.c	int DshResponseS16F18(ID_TR trid, TPRJ_DEQ_INFO *info, TPRJ_DEQ_ERR_INFO *erinfo)		
S16F27	H E	Control Job Command Request	u_s16f27.c	int DshResponseS16F28(ID_TR trid, TCJ_CMD_INFO *info, TCJ_CMD_ERR_INFO *erinfo)		